

① 教育課程特例校としての取り組み

東京都北区教育委員会および東十条小学校、滝野川小学校、王子桜中学校の管理職と協議を重ね、以下の取り組み内容で「海育科」を設置しました。概略を以下に示します。

■教育課程の基準の特例の内容について

① 東十条小学校

- ・第4・5・6学年において新教科「海育科」を新設しました。
- ・第4学年では「海育科」に、「総合的な学習の時間」の一部の時間を充てます。また、第5・6学年では「海育科」に「理科」の一部の時間、「社会」の一部の時間、および「総合的な学習の時間」の一部の時間を充てます。

② 滝野川小学校

- ・第4・5・6学年において新教科「海育科」を新設しました。
- ・「海育科」を設置する全学年で、「海育科」に「理科」の一部の時間、「社会」の一部の時間、および「総合的な学習の時間」の一部の時間を充てます。
- ・なお、第4・5・6学年における本格的な海育科の実施に備えて、第1・2・3学年、および特別支援学級においても、「海との出会い」分野の海洋教育を「生活科」、「学級活動」、「総合的な学習の時間」の一部の時間で実施しています。

③ 王子桜中学校

- ・第1・2学年において新教科「海育科」を新設しました。
- ・第1学年では「海育科」に「理科」の一部の時間、「社会」の一部の時間、および「総合的な学習の時間」の一部の時間を充てます。また、第2学年では「海育科」に「理科」の一部の時間、および「社会」の一部の時間を充てます。

■教育基本法及び学校教育法における教育の目標に関する規定との関係

「海育科」の趣旨は、①海に対する親しみ、理解、関心を深める、②私たちの生活が、歴史文化、科学技術の両面で海と深く関わっていることを理解する、③海洋環境とその保全について理解する、④持続的に海を利用し海と共に生きることが、社会の永続的發展に不可欠であることを理解する、以上の4つです。

新設教科「海育科」は、「海との出会い」「海の科学」「海の保全」「海の利用」の4分野で構成します。

「海との出会い」は、海の豊かな自然や海に関わりのある地域社会の中での様々な体験活動を通して海との出会いを体験し、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んで関わろうとする児童・生徒の育成に取り組みます。「海の科学」は、海の自然や資源、人との深い関わりについて関心を持ち、科学的な態度を持って進んで調べようとする児童・生徒の育成に取り組みます。ここでいう科学的な態度とは、

自然科学、社会科学および人文科学を含めた論理的および客観的に事象を捉えようとする態度のことで、「海の保全」は、海の環境について調べる活動やその保全活動などの体験を通して、海の環境保全に主体的に関わろうとする児童・生徒の育成を図ります。「海の利用」は、水産物や資源、船舶を用いた人や物の輸送、また海を通した世界の人々との結びつきについて理解し、それらを持続的に利用することの大切さを理解できる児童・生徒の育成を目指します。

これらの取組は、教育基本法第二条に掲げられる「幅広い知識と教養の習得」「豊かな情操と道徳心の涵養」「生命・自然の尊重」「環境の保全に寄与する態度」「伝統と文化の尊重」「我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重する態度」等の教育目的を踏まえています。また、海から離れた地域における海洋教育の実現は、教育基本法第三条に掲げられる「あらゆる場所において学習することができる社会の実現」を図るという理念を踏まえるものです。

■学習指導要領に定める内容事項が特別の教育課程において適切に取り扱われていること

新設教科「海育科」では、「理科」および「社会」の学習内容の一部を「海育科」の4分野（「海との出会い」、「海の科学」、「海の保全」、「海の利用」）に関連させて再構成し、海について体系的に学びます。また、これら4分野全てにおいて、「総合的な学習の時間」のねらいに合わせた主体的、創造的、協同的な活動を実施し、深く学びます。これらの取組により、「海育科」では、学習指導要領に定められた「理科」「社会」「総合的な学習の時間」の目標を逸脱することなく、特色ある教育課程を編成します。

■「海洋教育評価検討委員会」の設置および小中学校間の連携について

本取組における海洋教育の実践成果を評価するため、学校教育関係者とお茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンターの教員から成る「海洋教育評価検討委員会」を設置します。義務教育9カ年の中期（小5～中1の3年間）を中心に小中学校間の連携を強化するため、担当教員は「海洋教育評価検討委員会」を通して情報交換を図ります。今年度は2月23日に実施します。

次ページに3校の教育課程表を掲載します。

東十条小学校 教育課程表

区分	各教科の授業時数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	外国語活動の授業時数	新設教科等の授業時数	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	68	68		102	34	34				850
第2学年	315		175		105	70	70		105	35	35				910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	70			945
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	60 (-10)		10	980
第5学年	175	94 (-6)	175	98 (-6)		50	50	60	90	35	35	68 (-2)	35	14	980
第6学年	175	99 (-6)	175	99 (-6)		50	50	55	90	35	35	68 (-2)	35	14	980
合計	1461	353 (-12)	1011	393 (-12)		358	358	115	597	209	209	266 (-14)	70	38	

新設教科の授業時数内訳

	海育科				
	海との出会い	海の科学	海の保全	海の利用	計
第1学年					0
第2学年					0
第3学年					0
第4学年	5	5	0	0	10
第5学年	4	4	3	3	14
第6学年	4	4	3	3	14

滝野川小学校 教育課程表

区 分	各 教 科 の 授 業 時 数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	外国語活動の授業時数	新設教科等の授業時数	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	68	68		102	34	34				850
第2学年	315		175		105	70	70		105	35	35				910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	70			945
第4学年	245	89 (-1)	175	104 (-1)		60	60		105	35	35	68 (-2)		4	980
第5学年	175	94 (-6)	175	98 (-6)		50	50	60	90	35	35	66 (-4)	35	16	980
第6学年	175	99 (-6)	175	99 (-6)		50	50	55	90	35	35	66 (-4)	35	16	980
合 計	1461	352 (-13)	1011	392 (-13)		358	358	115	597	209	209	270 (-10)	70	36	

新設教科の授業時数内訳

	海育科				
	海との出会い	海の科学	海の保全	海の利用	計
第1学年					0
第2学年					0
第3学年					0
第4学年	2	2	0	0	4
第5学年	4	4	4	4	16
第6学年	4	4	4	4	16

王子桜中学校 教育課程表

区 分	各 教 科 の 授 業 時 数									道徳の授業時数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業時数	新設教科等の授業時数	総授業時数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語					
第1学年	140	99 (-6)	140	99 (-6)	45	45	105	70	140	35	35	45 (-5)	17 (+17)	1015
第2学年	140	99 (-6)	105	134 (-6)	35	35	105	70	140	35	35	70	12 (+12)	1015
第3学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70		1015
合 計	385	338 (-12)	385	373 (-12)	115	115	315	175	420	105	105	185 (-5)	29	

新設教科の授業時数内訳

	海育科				
	海との出会い	海の科学	海の保全	海の利用	計
第1学年	6	7	2	2	17
第2学年	4	4	2	2	12
第3学年	0	0	0	0	0

北区教育委員会

「海洋教育」を3校で推進

持続可能な海との関係を学ぶ

日本は四方を海に囲まれ、海からの資源を受取る一方、東日本大震災の記憶が消えることはない。お茶の水女子大学は、海洋教育を定着させ、学習指導要領に組み込み、教育現場で児童、生徒、教員広めていくことを狙いとした「海洋教育推進プログラム」を進めている。同大と理科教育で長く連携を続ける区は、3校を部科学省指定の教育課程特例校とし、海洋教育研究指定校指定して海洋教育を奨励した。



荒川について調べたことを話し合うグループ
＝滝野川小学校で

問題解決NIEも加味
荒川の問題」の授業を行った。30時間の単元で、問題を把握し、その解決に向けて調べ学習をし、4年1組が発表の準備をする。その間に、海に関する問題について話し合うグループを組んだ。

荒川の問題」の授業を行った。30時間の単元で、問題を把握し、その解決に向けて調べ学習をし、4年1組が発表の準備をする。その間に、海に関する問題について話し合うグループを組んだ。

坂戸高等学校③

二

形成されていく生徒の無難な誰かを楽しみます。そうした環境、ペース、スタイルを、導入には大きな効果がある。小学校・中学校を併用し、内マラソン大会を共催し、

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

「同じにならないように」と思っている人は、助けを求めたい。変更した人は、今ある上に新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。新しいことを加えて、よりレベルを上げていく。

子供たちの主体的な学びへ

都教育庁が情報教育フォーラム

情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。

情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。

情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。

情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。

情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。

情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。

情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。

情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。

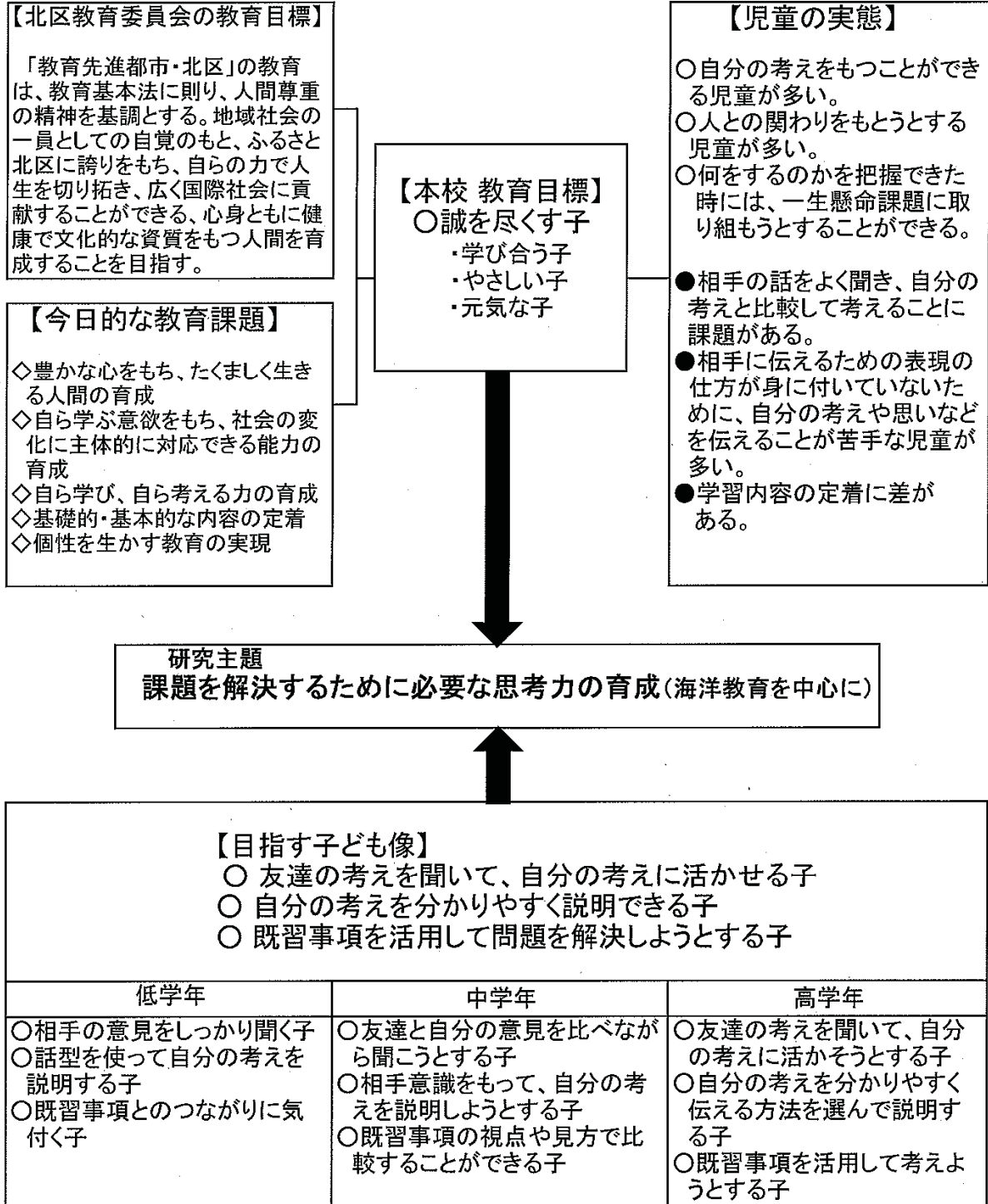
情報化社会を主体的に生き抜く子供たちを育てよう。昨年1月に「SNS東京ルール」を策定した都教育庁。4日には、都立府中中央会館で「情報教育フォーラム」を開催し、実践発表と講演を行った。



ソコン同好会での取り組みも発表した立町田高校

② 北区立東十条小学校の取り組み

平成28年度 研究構想図



海育科の目標

- ① 海に対する関心を持ち、親しみを育てる。
- ② 私達の生活が、歴史や文化、科学技術の面で海と深く関わっており切り離せないことを理解する。
- ③ 我が国の成り立ちを考え、私達の社会が長らえるためには海を持続的に利用し、そのためには海洋環境の保護が必要であることを理解する。
- ④ 海の学びを通して、海と関わる自己の生き方についての考えを深める。

関連法令
教育基本法、学校教育法、海洋基本法、海洋基本計画

本校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、自ら学び考え、進んで郷土や国家・国際社会の発展に寄与できる知・徳・体の調和のとれた心豊かな人間の育成を目指す。
誠を尽くす子〔総括目標〕
○学び合う子 ○やさしい子 ○元気な子

児童・地域の実態

海育科の4分野の内容と関連

「海との出会い」

海の豊かな自然や海に関わりのある地域社会の中での体験活動を通して海との出会いを体験し、海の自然に親しみ、海に進んで関わろうとする児童の育成に取り組む。

「海の科学」

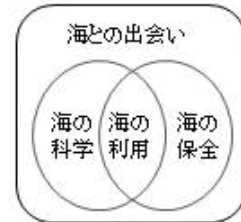
海は自然や資源、人との深い関わりについて関心を持ち、科学的な態度を持って進んで調べようとする児童の育成に取り組む。

「海の保全」

海は環境について調べる活動やその保全活動などの体験を通して、海の環境保全に主体的に関わろうとする児童の育成に取り組む。

「海の利用」

海に関する資源や産業、海を通じた世界の人々との結び付きを理解し、それらを持続的に利用することの大切さを理解できる児童の育成に取り組む。



第4学年の目標:海に親しむ。海の姿を学ぶ。

海との出会い

与論島および与論島で暮らす人々についての学習を通して海と密接に関わり合う生活の姿を学ぶ。

海の科学

与論島および与論島で暮らす人々についての学習を通して、海の性質、陸とは異なる特性について学ぶ。

海の保全

海の利用

第5学年の目標:海の姿をより詳しく学び、海への関心や親しみをさらに深める。私達の社会と海との関わりを学ぶ。

海との出会い

海の体験学習(岩井自然体験教室)での磯遊びを通して、海を知り、海に親しみを持つ。さらに、地域の川と海、世界の海との繋がりの関わり合いを学ぶ。

海の科学

海の体験学習(岩井自然体験教室)で海水、波、磯や磯に棲む生き物を学び、海の生態系やその多様性を学ぶ。

海の保全

川を通じた地域と海の繋がりに関して学び、山や川の環境保全が海の環境保全につながることを学ぶ。

海の利用

日本の各地の海で獲れる海産物、地域による海産物の違い、食卓塩が海水から作られていることを学び、日本の食が海に支えられていることについて考える。

第6学年の目標:海の姿をさらに深く学ぶ。私達の社会と海との歴史を通して関わりを学び、永続的な海との共生について学ぶ。

海との出会い

海に棲む哺乳類と私達ヒトの比較から海への親しみを深めるとともに、日本の土地がかつて海であったこと、日本と海の関わりが既に飛鳥時代からあったことを学び、時間を超えた海との関わりについて考える。

海の科学

海に棲む生物群の食物連鎖、海水の特徴、海中の地形などから海と陸の類似点と相違点について考える。

海の保全

地球温暖化が海に与える影響や周りの国と協力した海の保全について学び、持続可能な海の利用について考える。

海の利用

日本の歴史の中で海が重要な役割を果たしてきたことを学び、日本が古来より海洋立国であったことを考える。

目指すべき児童像

- 海への親しみをもち、海に積極的に関わろうとする子
- 私達の生活が科学、歴史、文化で海と深く関わりを持つことを進んで学び、理解しようとする子
- 永続的な海の利用と海洋環境の保護について進んで学び、私達の社会が長らえるために海との共生が不可欠であることを理解しようとする子
- 自己と海とのこれからの関わりについて、見直しを持って考えることのできる子

【年間指導計画】

4年 海育科 年間計画

北区立東十条小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との 出会い				与論島および与論島での生活の学習を通して海を知り海に親しみを持つ								
海の 科学				与論島および与論島での生活の学習を通して、海水、波、海の生き物の姿を学ぶ								
海の 保全												
海の 利用												

5年 海育科 年間計画

北区立東十条小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との 出会い	日本の海や世界の海について学ぶ			岩井自然体験教室で海を体験し、親しむ		地域の川が海につながることを学ぶ						
海の 科学		海に棲む生き物の発生、成長を学ぶ		岩井自然体験教室で海水、波、海の生物を学ぶ								
海の 保全			川の環境保全を通じた海の環境保全について学ぶ									
海の 利用			日本各地の海産物、地域の水産業について学ぶ							海水からの塩づくりを学ぶ		

6年 海育科 年間計画

北区立東十条小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
海との 出会い		古代日本の海との関わりを学ぶ	海に棲む哺乳類について学ぶ						日本の陸地がかつて海であったことを学ぶ			
海の 科学				海の生物の食物連鎖を学ぶ			海の地形について学ぶ					
海の 保全				「海の日」について学ぶ					海を隔てた周辺国について学ぶ		下水処理施設による海の環境保全について学ぶ	地球温暖化の海への影響について学ぶ
海の 利用	日本の歴史の中で海が重要な役割を果たしてきたこと、日本が古来より海洋立国であったことを学ぶ											

東十条小学校教員に向けた海洋教育講習

(平成28年5月11日 14時30分～15時30分)

東十条小学校は海洋教育の教育課程特例校（文部科学省より指定）として、また北区における海洋教育研究指定校（北区教育委員会より委嘱）として、平成27年度より本格的に海洋教育を進めてきました。学校全教員に対して、改めて海洋教育の意義、東十条小学校に期待されていることを講演したうえで、具体的な実施方策について討論を行いました。

上述の教育課程特例校、北区研究指定校としての取り組みに加え、東十条小学校の今年度の校内研究のテーマを「課題を解決するために必要な思考力の育成 ～海洋教育を中心に～」として、海洋教育が校内研究のテーマとしても据えられました。そのため、教育課程特例校や北区研究指定校の枠を超えて、理科、社会科、総合的な学習の時間のみならず全教科・領域で海洋教育を試みるものと位置づけています。講習では、様々な学年の担任教員や、音楽、図画工作、家庭科などの担当教員から昨年度の経験をもとに今年度の進め方の提案や質問があり、全校を挙げて海洋教育を進める準備が昨年度にも増して進みました。

【講演スライドの一部】



4領域のコンセプト

海洋教育における4領域のコンセプト



【海に親しむ】 海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に近づくことを目指す児童・生徒を育成する。

【海を知る】 海の自然や資源、人との深い関わりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童・生徒を育成する。

【海を守る】 海の環境について調べ活動やその保全活動などの体験を通して、海の環境保全に主体的に関わろうとする児童・生徒を育成する。

【海を利用する】 水産物や資源、船舶を用いた人や物の輸送、また海を通じた世界の人々との結びつきについて理解し、それらを持続的に利用することの大切さを理解できる児童・生徒を育成する。

29

海に関する法律・政策

海に関する法律・政策

さらに、海洋基本法に基づいて「海洋基本計画」が定められ、海洋教育を普及促進するための具体的方策が述べられています。

第1期海洋基本計画(平成20年3月18日閣議決定)

「海洋に関する国民の理解の増進と人材育成」(第2部127頁)

- 小学校、中学校及び高等学校の社会や理科等において海洋に関する教育が適切に行われるよう努める(ほか、海洋に関する教育の実践事例の提供を図るなど海洋教育の普及促進に努める)。

第2期海洋基本計画(平成25年4月26日閣議決定)

「海洋に関する国民の理解の増進と人材育成」(第2部127頁)

- 小学校、中学校及び高等学校において、学習指導要領を踏まえ、海洋に関する教育を充実させる。また、それらの取組の状況を踏まえつつ、海洋に関する教育がそれぞれの関係する教科や総合的な学習の時間を通じて体系的に行われるよう、必要に応じて学習指導要領における取扱いも含め、有効な方策を検討する。
- 海洋関連の副教材の作成を促進する。また、海洋に関する教育の実践事例集や手引きなどの指導資料の作成、教員研修の充実等を通じ、教育現場が主体的かつ継続的に取り組めるような環境整備を行う。

15

他の小学校での実施

平成27年度 館山市立西岬小

6. 活動の様子

(1) 児童の活動の様子

① 本時の活動の様子

始めに、係員の方から作り方を説明しながら説明してもらった。事前に材料や作り方を調べていたが、説明では、しよろぎを入れる理由やたたく理由なども教えて頂き、子どもたちは新しい発見をしていた。

調理では、アジの皮をほどくところから、焼くところまで行った。1グループにつき1人係員の方が入ることができたので、たたく方がポイントなどをその都度教えてもらいながら、調理をすることができた。

献立では、予想以上に美味しかったようで、とても満足している様子だった。魚の苦手な子どもも美味しく食べることができていた。



海育科授業実践

第4学年の実施内容

■岩井移動教室での実施（平成28年7月4日）

概要

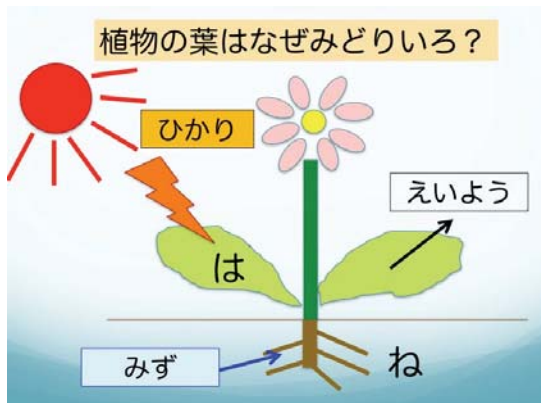
千葉県南房総市にある北区立岩井学園で行われた「岩井移動教室」において、「海藻学入門」を実施しました。4年生62名に対して、本学湾岸生物教育研究センターの講師が、約1時間「海に親しむ」、「海を知る」プログラムを提供しました。

内容

前半は「海藻入門 ～りくじょう植物と海そうをくらべてみよう」として海藻の特徴を学びました。これまで学んだ陸上植物のつくりを復習しながら、海藻との違いについて学びました。また、海の中では深さによって届く光の種類が違うこと、少ない光を有効に利用する工夫、海藻には緑色、茶色、赤い色の仲間があること、また形や色の種類がたくさんあることを知ってもらいました。



当日朝、海岸で海藻を拾い、家庭用真空パック器を使って生の海藻の形がわかるような標本を作成



これまで学んだ陸上植物の体のつくりを復習

2016年7月4日 東十条小学校

りくじょうの植物と海そうをくらべてみよう
4年 組 なまえ _____

3年生のふくしゅう

- ① 植物の体は（ ）、（ ）、（ ）からできています。
- ② 根は土のなかにあり、（ ）や養分をとりこみ、体を（ ）います。
- ③ くきは（ ）と（ ）をつなぎます。
- ④ 葉はだいたい（ ）色で、（ ）をとりこみます。
- ⑤ 植物が育つには（ ）と（ ）が必要です。

海そうのからだのつくり

- ⑥ 海そうには根、くき、葉は（ ）。
- ⑦ 体全体で（ ）と養分をとりこみます。
- ⑧ （ ）は岩などにくっつくところです。
- ⑨ 海そうには みどり色 のなかま、（ ）のなかま、（ ）のなかまがあります。
- ⑩ 海そうはやわらかいです。なぜだか考えてみましょう。

ワークシートに書き込みながら知識を整理